



～今、福島原発の事故現場はどうなっているのか～ 元・東電社員（福島原発勤務）の証言を聞く

東京電力福島第一原発に十年間、福島第二原発に四年間勤して昨年退職された元東電社員の吉川彰浩さんに下記 5 項目について語っていただきます。

- 1 事故直後～そして2年4ヶ月の今、現場はどうなっているか？
- 2 大事故現場の処理作業は生身の人間（東電社員や協力企業の現場作業員さんたち）の奮闘努力で続けられているが、具体的にどんな作業をどのような環境の中で行っているのか？
- 3 この大きな事故は真に収束できるのか？
- 4 本当に安全な原発はあるのか？
- 5 現場の保全担当者として奔走してきた吉川さんの生の声、浪江町よりいわき市に避難して生活する被災者として思い



講 師：吉川彰浩氏講師プロフィール

東電学園高等部(東京電力の私立高校)卒業、1999年から2008年まで福島第一原子力発電所に勤務、2008年から2012年6月まで福島第二原子力発電所に勤務、32歳。現在、浪江町より、いわき市に嫁、犬2匹と共に避難中。福島原発の実情及び原発作業員の方々や被災者の方々の実情を自由に発信していくため現在フリーで活動。

日 時：2013年7月20日（土）14：00～16：00

会 場：仙台YWCA会館1階ホール

参加費：500円

*同時手話通訳がつきます。

お問い合わせ先 仙台YWCA

980-0011 仙台市青葉区上杉2-1-10

電話 022-222-9714 ファックス 022-265-9310

